

- 主催 (財)岐阜県サッカー協会
 主管 岐阜県サッカー協会3種委員会
 後援 岐阜県
 期日 2018年3月3日～9月30日の土曜日曜祝日
 参加資格
1. 公益財団法人日本サッカー協会第3種に登録されたチーム、選手であること
 2. 他の中学校、クラブに二重登録された選手でないこと
 3. 選手は中学生であること、女子選手も参加できる
 4. 「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別チームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。
 5. 選手、チーム登録
 - ・同一チームの複数チームの出場を認める
ただし、同カテゴリーの複数チームの参加は認めない(例:1部リーグに同一チームから2チーム参加は×)
 - ・同一チーム内での移籍は認める
 - ・前後期はなく、選手移籍(移籍、AとBチームの移動含む)は年間2回まで可能とする。
登録用紙を試合前日21時までに競技委員長へメールorFAXすれば翌日から出場できる
 - ・リーグ開幕時にエントリーされた選手以外が出場するには、JFAへ登録及び追加登録用紙を事務局に提出
 - ・(入替戦に出場できるのはリーグ最終節前日までに登録された選手であること)
 - ・4月から加入が決まっている新中1は、2018年の登録をすれば3月の出場可能とする(必ずweb用紙持参)
 - ・4月から加入するかわからないが、クラブ申請済のチームの小6は3月は出場可能とする
 6. 大会期間中に参加資格のないものを出場させると厳罰の可能性はある。
 7. 大会期間中に選手が移籍、退会などで選手不足になった場合には速やかに競技委員長に連絡する。

競技方法 1. リーグ構成

- ・1部10チーム、2部は10チーム、3部は29チームに分ける
- ・試合時間は70分(35-10-35)とし、同点の場合は引き分けとする
- ・勝点は、勝ち=3、引き分け=1、負け=0 とし、勝点の多いチームを上位とする
- ・勝点と同じ場合、当該チーム間の対戦成績(勝点→得失点差)→全試合の得失点差→総得点の順番で決定
3チーム以上のチームが勝点と同じ場合は、当該チーム間の対戦成績(勝点→得失点差→総得点)→全試合の得失点差、総得点の順で決定
それでも決まらない場合は抽選(昇降格及び岐阜県選手権に関係する場合には再試合)で決定する
- ・3部最終順位は後期リーグの成績の良いチームを上位とする。(前期勝点は年間順位に関係しない)
- ・勝点と同じ場合は1～2部と同様に決定する

2. 対戦形式

- ・1～2部は総当り2回戦18試合を行う
- ・3部は29チームを3ブロック×9～10チームに分け、前期1回戦8～9試合を行う
- ・3部後期は、前期順位によって、5～6チーム×5ブロックに分け、1回戦4～5試合を行う
(分け方は、前期1～2位、3～4位、5～6位、7～8位、9～10位とする)

3. 昇降格

- ・別紙掲載
- ・AチームとBチームが同一リーグに所属することはできない(3部以外)
- ・2019年度は1部10チーム、2部10チーム、3部に他のチーム(+新規参戦チーム)で実施
- ・上記以外の状況になった場合はリーグ委員会で検討し、決定する

入替戦 実施しない

- 岐阜県選手権 2012年度より中体連枠、クラブ枠を撤廃し、リーグ戦参加チームの上位チームで岐阜県選手権を行う
 2018年度は、1部10チーム、2部4チーム、2部5位vs3部2位勝者、2部6位vs3部1位勝者の合計16チームが出場する
 2部6位までと3部2位までにBチームが入った場合は下位のチームを繰り上げる
 (なお、岐阜県選手権には9月30日に登録されたチームでのみ選手は出場できる) →後日決定

競技規則 1. ルールは日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2017/2018」による

2. リーグ登録人数は無制限とし、大会期間中の登録選手の変更は新規(移籍含む)の場合は申請日の翌日から出場できる ※新規選手申請は競技委員長に夜9時までにメール連絡すること
3. 試合開始時間30分前までに、メンバー表の先発選手に○を付け、大会本部に提出する
4. 先発選手は試合開始5分前までに大会本部前に集合し、審判チェックを実施する
5. ベンチ入りは無制限で、交替は残りの登録選手から9人とし、交替して退いた選手の再出場は3部は認める
※1部と2部は自由な交替×で9名交替、3部は所属人数数も考えて自由な交替有とする
JFAの見解ではU14までは自由な交代有、U15以上は無
6. 交替は交替用紙を出さない

7. 警告・退場

- ・リーグ期間中に警告を3回受けた選手は次の1試合に出場できない
- ・リーグ期間中に警告を6回受けた選手は次の2試合に出場できない
- ・退場処分を受けた選手は次の1試合に出場できない
なお、退場の理由によっては複数試合の出場停止もある
- ・最終節で退場処分となった選手は入替戦もしくは次の大会の第1試合に出場できない
- ・最終節で累積警告が3枚もしくは6枚になった場合には、入替戦(順位決定戦)には出場できない
- ・入替戦(順位決定戦)で退場処分となった選手は次大会の第1試合が出場停止となる
- ・出場停止選手は各チームで累積警告を把握しておくこと ※累積警告は各チームで管理責任を持つ
出場停止選手を誤って試合に出場させた場合には当該チームの試合結果はリーグに反映せず降格する

8. ボールはモルテンF5V5001を事務局から配り、必ずそのボールを使用すること(空気圧0.9)

9. ユニフォーム

- ・色の異なる正副(シャツ、パンツ、ソックス)を2種類用意すること
GKを含め4色になり、4色の見分けがはっきりとしていること
同系色(オレンジと赤、黄色とオレンジ、エンジとオレンジなど)は認めない※GKも同じ
黒、紺色のシャツなど通常審判が着用する黒シャツと類似する色のシャツは認めない※GKも同じ
- ・ユニフォームは事前に事務局から指定された色を着用し、ユニフォームチェックは実施しない
どちらかのチームがユニフォームを忘れることを考慮し、試合には必ずユニフォームを全て持参すること
どちらかのチームがユニフォームを忘れた場合には柔軟に対応すること
- ・ユニフォームの背番号は1～99番までの番号とすること
- ・シャツにはチーム名、胸番号、背番号がついていること(腰番号がついていることが望ましい)
- ・シャツ、パンツ、ソックスの種類が全員同じであること
- ・スパッツ、タイツはパンツの主たる色または、裾の部分と同じ色であること。(全選手同色)
- ・半袖シャツの中に長袖インナーシャツを着る場合には半袖シャツの袖の色と同じであること
- ・GKがケガしてFPがGKを務めないといけないう場合には背番号の変更を認める ※事務局へ連絡
→試合中、試合前問わずに上記を適用する。また出場停止でGKが出れない場合そのGKシャツを利用するために番号が変更になることを認める。試合前に番号が変わる場合にはメンバー表に理由を明記のこと
- ・**背番号は毎試合変更することができる。※しかし累積警告には注意する**

10. チームが試合を棄権した場合は同一リーグ内の最多得点差の負けとし、翌年のリーグには出場できない
11. 試合は雨天決行とするが、警報が発令された場合やグラウンド状況によっては中止もあり得る
12. 雷や豪雨で途中で試合が中止になった場合には、試合の残り時間を後日実施する
ただし、該当する両チームが中止になった時点で得点で試合終了を了承した場合には試合成立とする
13. チーム事情で試合に参加しなかった場合には不戦敗とし、試合結果は同一リーグ内最大得失点差とする
14. 2～11以外の規則は2018年度日本サッカー協会競技規則に準ずる
15. 延期になった試合は原則その月もしくは翌月で実施する
最終土日などで不可能な場合のみ翌月実施

審判

1. 試合には必ず有資格審判を2名帯同させること(2014年度以降にクラブ連盟加盟チームは1名は3級)
2. 第4審判も含めて有資格者で試合を行う
3. 4人の審判団で、資格最上級者が主審を務めること
2級資格取得のための研修であれば下級資格者の主審も認める
4. ユース審判
・高校生は認めるが、中学生は認めない
・高校生の場合、3級保持者は主審を務めることはできるが、4級保持者は主審は務めることができない
5. 試合前には選手証チェックをする
選手証の携帯および提出を基本とするが、手元に届いていない場合[web登録サイト「最新の選手登録・申請状況」画面コピーでの代替を認める
選手証不携帯の場合は試合に出場できるが、後日、試合前日までにその選手が日本サッカー協会に登録されていたことを事務局に証明すること
もしも試合前日までに未登録選手であった場合にはリーグから除名する
6. 審判は試合開始の30分前までに会場にいること(遅刻の場合は会場責任チームに必ず連絡する)
7. 主審はインナー長袖シャツ、スパッツ、タイツを黒色(ラインや黒以外の物入らないこと)は着用してもいい
8. 試合は基本的に3級保持者で主審を務めたいので、できる限り3級保持者を1名毎試合準備する
9. ジャッジがあまりにも酷いと報告のあった審判はリーグ委員会で協議し審判をできなくなることもある
10. 審判をした後に自チーム試合が天候不良で中止になった場合には延期の試合日にも担当審判はある
11. 審判団は審判報告書欄の対戦チームの監督署名を必ず記入させること

会場開始 1. 大会本部を設置する(テント、イス、机)

責任チーム 2. コーナーフラッグ、副審フラッグ、空気圧計、試合結果報告書、審判報告書を用意する

3. ラインを綺麗に引く

4. 開始責任と終了責任チームは連絡し、会場に上記2とラインカーと石灰が常にある状態を保つ

5. 1日3試合の場合には開始責任が2試合目まで、1日4試合目までは開始責任が2試合目まで
1日5試合の場合は開始責任が3試合目まで開始責任が担当する

会場終了 1. 東海クラブ連盟ホームページに結果入力をする(入力後しっかりHPで誤入力がないか確認)

責任チーム ⇒入力方法は野村競技委員長より携帯メールします

2. 警告、退場のあった試合の審判報告書を望月審判委員長に報告(メール)

yusukemochizuki@yahoo.co.jp

その他 1. 第1節と後期の試合の先発選手に大幅な変更がないことが望ましい

⇒対戦相手、所属リーグへのリスペクト、昇降格への配慮

2. ベンチは組み合わせの左側チームがコートに向かって左側のベンチを使用する

3. 本部のテントは会場責任チーム、ベンチのテントは各チームで準備する

4. 会場準備は開始責任チームが行う。片付けは最終試合の両チームで行う

5. 会場終了責任チームは最終試合終了60分以内に東海クラブ連盟のホームページに結果入力する
会場終了責任チームは、警告・退場のあった試合のみ審判報告書を競技委員長までFAXすること

6. 会場への送迎は乗り合わせを各チーム徹底すること(1選手1台は認めない)

7. 試合の中止(天候による)は会場責任チームと事務局が決定する

8. 大会規定違反があったり、その他主管委員会の指示に従わず著しく競技運営に支障のある事項が発生したりした場合は、主管者がそのチームの出場を停止する

9. 参加選手は各自スポーツ保険に加入していること

いかなる理由があっても岐阜県サッカー協会では怪我・死亡の補償はしない

10. 選手証とメンバー表の順番は同じにしておくこと

11. Bチームが新規でリーグ戦に参加する場合は特例はなく最下部リーグから出場する

12. 日程はチーム都合(学校行事を含めて)を一切考慮しない※スタッフ冠婚葬祭、体育祭のみ考慮する

13. 翌日に学校がある場合のナイター試合は原則実施しない

14. 日程の変更は試合日の2週間前までとし、2週間をきった変更はしない

⇒しかしやむを得ない事情による変更もあり得るので、各チームは協力すること

15. コートは、縦100～105m×横66～68mであること。マウンドは入ってはいけない。

→美濃加茂東中、西中、多治見星ヶ台、羽島下中は上記ルールを適用しない

上記に掲載されていない規定や運営などの決定は3種委員会及び事務局にて決定する